

プロも使うYocto開発環境で初体験!

ラズパイ時代のレベルアップ!

## MyオリジナルLinuxの作り方

第27回 NASの設定②…ファイル共有してアクセスしてみる

三ツ木 祐介

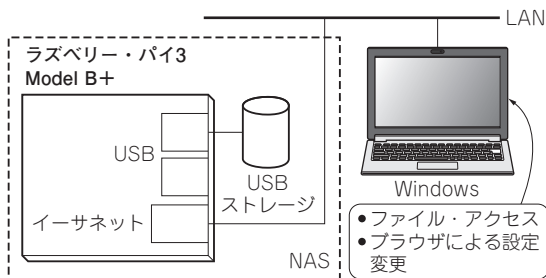


図1 Gビット・イーサネットに対応しUSBブートが可能になったラズベリー・パイ3 Model B+を使ってNASを構築する

ラズベリー・パイをNAS(Network Attached Storage)として使用できる環境を構築しています(図1)。USBハード・ディスクからブートできるようにし、OSの管理をブラウザから行うためのウェブ・アプリケーションWebmin<sup>(1)</sup>を使ってNASとして使う領域のパーティションを作成しました。今回は、この領域を共有領域に設定し、LinuxとWindowsから実際にアクセスします。

## ファイル共有の設定

ネットワーク経由でアクセスできるように共有ディレクトリを作成します。今回は誰からもアクセス可能な設定にします。

### ● 新しい共有領域を作成する

Webminのメイン画面から「Servers」タブを選択し、「Samba Windows File Sharing」アイコンをクリックします[図2(a)]。

Windows共有設定画面(Samba Windows File Sharing)が表示されます。新しい共有領域を作成するため、「Create a new file share.」をクリックします[図2(b)]。

ファイル共有作成画面(Create File Share)では、図2(c)のように設定します。

Windows共有設定画面に戻ると、Windows共有一覧にpublicが追加されています。

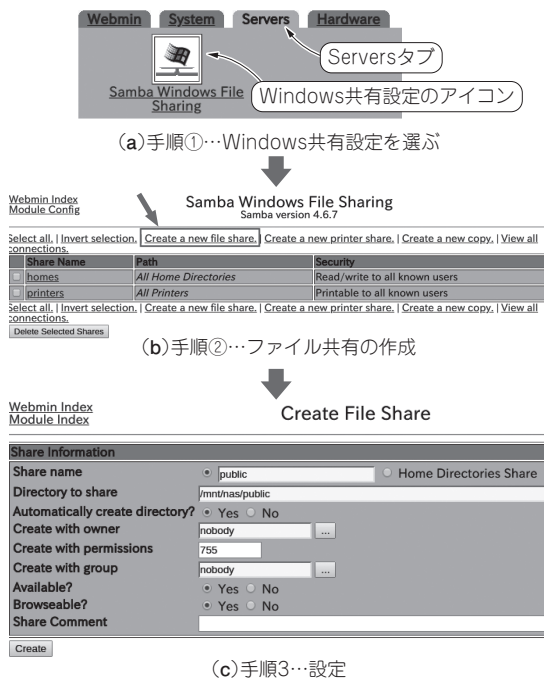


図2 新しい共有領域を作成する

### ● 共有領域を読み書きできるようにする

publicのセキュリティの項目を見ると「Read only to all known users」となっています[図3(a)]。このままでは書き込みができないので、設定を変更します。

「public」をクリックすると、ファイル共有の編集画面(Edit File Share)が表示されます[図3(b)]。セキュリティの設定を変更するために、「Security and Access Control」をクリックします。

セキュリティ編集画面(Edit Security)では、Writable?とGuest Access?を「Yes」にします[図3(c)]。他の項目はデフォルトのままです。画面下部にある「Save」をクリックすれば設定は完了です。Windows共有設定画面に戻り、セキュリティの項目が「Read/Write to everyone」になっていることを確認します。